様式4

令和5年10月24日

令和5年度　　学校関係者評価及び改善策

（中間・最終 ）　　昭和北中学校区　校番25　学校名　呉市立昭和北小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標，指標の設定の適切さ	B	・Qubena（キュビナ）により1人ひとりのデータが把握できるようなので，今後指標が進化することを期待する。 ・運動能力なども一元管理できると，苦手な児童の努力を認めやすくする。 ・運動やスポーツが好きであることは指標となるのか検討を要する。 ・業務改善の目標値が高すぎるのではないかと感じる。
目標達成のための方策の適切さ	A	・タブレットが有効に活用されており，授業参観でも確認できた。 ・繰り返しや振り返りが効果的に使われている。 ・「考える授業」への改善は重要だと感じる。他人の意見を否定しないことが前提となると思うが，これによっていじめを減らすことにもつながればよいと思う。 ・にこチャレは，子供自ら意識して生活習慣を見直せる良い取組である。 ・長時間勤務の削減は，具体策を実現することが重要である。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	・丁寧に分析されている。 ・特定の学年や学年間での学力差についてさらに分析する必要がある。 ・改善策を考える上で，知・徳・体それぞれ課題のある児童の個別分析をもっと深めていくとよい。 ・夢や目標をもつことは大切であるが，それが難しい児童にはどう対応しているのか考えていく必要がある。
今後の改善策（案）の適切さ	A	・具体的な改善策が示されていた。 ・算数科より国語科の方が評価テストの結果が芳しくない。急に伸びる教科ではないので，読解問題など少人数で行うことも効果があると思う。 ・Qubenaの活用から個々の実態や課題を把握し，個別指導に役立てていってほしい。 ・企業では1on1ミーティングが注目されている。1か月に短時間でも一人一人の話を聞くことができれば，自己有用感や自己指導能力に効果があると思う。
その他	・参観して，校内が整理整頓されていると感じた。 ・5・6年生で行う少人数指導は，本人の希望で選択できており，よいと思った。 ・設備面で，暗い教室や手すりの無い階段，階段と廊下間の段差が気になった。 ・行事などがコロナ前に戻る中，更なる業務改善を工夫して進めていってほしい。 ・児童の明るい顔は地域においても安心安全をもたらす。あいさつをするという気持ちを共に育んでいきたい。	

※　評価は，A（とても適切），B（概ね適切），C（あまり適切でない），D（まったく適切でない），N（分からない）

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・実態把握や分析をもとに改善をしながら進めていく必要がある。 ・個々の児童の実態を踏まえ，目標となる児童の姿を見据えた上で，創意工夫をした方策を考え，取り組む。 ・保護者や地域と連携し，信頼関係を深めていけるよう，修正を加えながら継続して取り組んでいきたい。 ・長時間勤務の削減に向け，会議や行事，日程等を精査するとともに，時間の枠の中で優先順位や仕事の効率化を考えながら仕事ができる教職員の意識改革を進めていく。